

# Last Spurt

## ≡ 陸上・長距離、マラソン ≡

景色がきれいで気候もルワンダに似ており、とても良い環境の中で練習に励むことができました。ホテルでの生活も、何不自由なく過ごすことができました。平館高の生徒たちが自分たちのためにケーキのレシピを考えてくれてとても感動しました。いい思い出になりました。

ずっと目標にしてきた東京五輪の舞台で、八幡平市の皆さんの期待に応えられるよう、結果を残したいです。



ジョン、マーサ選手

## ≡ 自転車・ロードバイク ≡

下りと上りが豊富で、練習に適した場所だと感じました。特にアスピーテラインと樹海ラインでの練習は、厳しい中でも景色などを楽しみながら走ることができ、とても気に入りました。空がきれいで、コメや野菜もおいしく、トレーニングに専念しながらも楽しく充実した日々を八幡平市で過ごすことができました。

東京五輪では、積極的な走りで強敵たちと戦いたいと思います。



モイゼ選手

## ≡ 水泳・自由形 ≡

八幡平市の気候がルワンダに似ていたため、リラックスしながら練習に励むことができました。食べ物もおいしく、もっと滞在したいと思うほど八幡平市が好きになりました。県営プールでは、本番と同じ50メートルプールで距離や飛び込みの感覚を磨くことができ、とてもよい調整ができました。

目標だった東京五輪に向け、できることは全てやったと思います。ベストを尽くしたいです。



エロイ、アルフォンシーヌ選手



**東**京五輪で最高のパフォーマンスを発揮すべく、ルワンダ選手団が本市に直前合宿入りし、本市を拠点に7月8日から19日までの12日間、最終調整をしました。合宿入りしたのは陸上2人(男子マラソン、女子5000メートル)、自転車ロード1人・水泳2人(男子、女子50メートル自由形)とそれぞれの競技コーチら8人の計13人。田村正彦市長は「合宿を無事に過ごし、五輪での目標を叶えて帰国してほしい」と歓迎し、選手団のムクンディユクリ・ジャン・ド・デュー団長が「整備されたトレーニング施設と滞在施設を提供していただきありがとうございます。可能であれば五輪の開会式でお互いの友好を象徴するリンドウを手にとって入場行進したい」とあいさつ。ルワンダ選手団はもちろん、迎える関係者たちも新型コロナウイルス感染症に細心の注意を払って選手たちをサポートしました。

**今**号では、国を背負い、東京五輪に向けてホストタウン八幡平市での練習に励む選手たちの様子を届けます。

# ルワンダと手をつないで

ルワンダと本市の交流は、平成26年にルワンダでリンドウの実証栽培をしたことをきっかけに始まりました。30年には文化・スポーツの交流に関する覚書を結び、ホストタウン登録後は、東京五輪を見据えた事前合宿を令和元年に実施。ルワンダへの関心が高まりました。また、元年に、ルワンダでリンドウを生産する現地法人が栽培現場を訪問するなど、多くの交流を重ね、お互いに友好関係を築いてきました。

**東** 京五輪本番の今年、コロナ禍により選手と市民が直接触れ合って交流することはできませんでしたが、オンラインでの交流や市民参加の応援動画で選手たちを精一杯応援し、心の交流をすることができました。

**ホ** スタタウンを契機に、より一層深まりを見せたルワンダと本市の絆。大会後もお互いが手を取り合い、リンドウと共に芽生えたつながりを大切に育み、将来に向けて花が咲き誇るように友好関係を深めていきます。

市とルワンダをイメージして、ハウレンソウ、おから、バナナを使ったケーキを作りました。食べた選手から「甘すぎず、とてもおいしい」と喜んでもらえて本当にうれいす。安代中に通っていた2年前にもルワンダの人たちと交流したことがあり、今回、リモートだけ応援できてうれしかったです。東京五輪、応援しています。



選手に絶賛されたケーキ



田鎖 来夢 さん

平館高2年の家政科学科  
9人でルワンダを応援する  
ケーキを考案。オンライン  
交流に参加

## 届けた思い



杉本 悠永 くん

田山学童保育クラブとルワンダの小学生が絵でお互いの文化を紹介しあう交流に参加

とてもきれいな焼走り熔岩流をルワンダの子もたちにも見てほしくて描きました。オンラインで交流したルワンダの子もたちは、田山っ子に負けないくらい元気な子ばかりで、いつか行ってみたいと思いました。2年前に田山の学童で握手した自転車の選手が優しくて格好良かったので、東京五輪は応援したいです。



題：焼走りとルワンダの人

## 子どもたちが大人になっても 続く交流を願って



地域おこし協力隊  
吉田 力

協 力隊として活動を始めた令和元年の夏、ルワンダ選手団が事前合宿に市を訪れた際に、選手をサポートするアテンド兼通訳として携わったのが私とルワンダの交流の始まりです。コロナ禍の今回は、私もホテルに泊まり込み、少しでも快適に過ごせるようサポートしました。その中で強く感じたのは、市の皆さんの温かさ。応援動画作りを多数の施設が快く引き受けてくれたり、祭りの観覧時に大きく手を振ってくれたり、平館高生が応援の気持ちでケーキに込めて届けてくれたりと、たくさんの温かさに触れました。選手たちは歓迎をとても喜び、五輪への大きな励みにしていました。そんな光景を間近で感じ、私も今まで以上に市が好きになりました。

**八** 幡平市とルワンダの間、リンドウを通じて経済交流が生まれ、そして東京五輪というイベントを通じて、人と人とのつながりができました。この、人と人との交流を絶やすことなく、これからも大切に発展させていってほしいと願っています。



1. 2. 3. 駐日ルワンダ大使が直前合宿前のあいさつとリンドウの視察に市を訪問 4. 5. 田山学童保育クラブの児童とルワンダの小学生がオンライン交流 6. 八坂神社大祭の山車を見学する選手団 7. ホテル安比グランドで浴衣を着て記念撮影する選手団 8. 平館高生と選手団がオンライン交流。レシピから考案したケーキで選手を応援 9. 東京五輪開会式でリンドウを手に入場行進した選手団